



ペロズ ステーション

PERO'S STATION

第86期 決算のご報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

東映アニメーション株式会社

株主の皆さまへ

グローバル戦略の推進と 新市場への展開で シェア拡大を目指す



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り心より御礼申し上げます。

作品人気が高まり、過去最高の売上高を達成

第86期は、国内外での認知度が一段と向上した「ワンピース」、「スラムダンク」を中心に好調を維持し、大型タイトルを多数公開した前年度を上回る売上高を達成しました。

2022年に公開した「ONE PIECE FILM RED」は国内外で人気を博し、原作の盛り上がりとともに、その人気は衰えず、「ワンピース」関連事業は好調を維持しました。また、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の公開も2023年8月末まで継続し、映像製作・販売事業、商品販売事業を中心に好調要因となっています。

中長期成長戦略について

当社が取り組む国内外のアニメーション市場の規模は、

日本アニメ市場が2.9兆円である一方、グローバルアニメ市場は、2022年時点で57兆円、2030年には86兆円に達すると推定されており、良好な外部環境であると認識しています。一層の成長を遂げるべく、グローバルでの作品展開を加速させてマーケットシェアを拡大し、世界に冠たる東映アニメーションブランドの確立を目指します。

また、新コンテンツプラットフォームの拡大についても、成長機会と捉えており、情報通信テクノロジー発展のトレンドを見極め、成長機会を着実に取り込んでいきます。

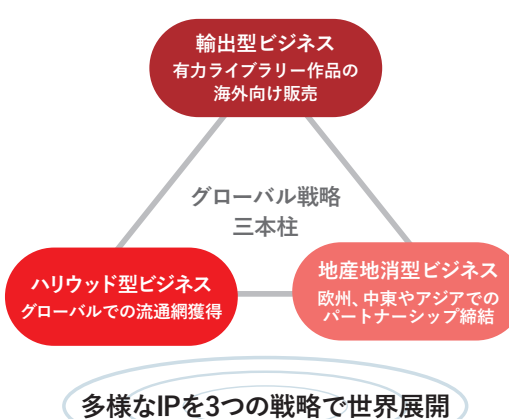
● グローバル戦略

グローバル市場への作品展開にあたっては、従来から取り組んでいる「輸出型ビジネス」、「ハリウッド型ビジネス」、「地産地消型ビジネス」をグローバル戦略の三本柱として継続します。

輸出型ビジネスは、国内で創出した作品を海外で展開するものです。従来からの取組みを一層強化するとともに、新たな有望国や地域を見定め、ビジネスの拡大を図っていきます。

中長期成長戦略

① グローバル市場への展開



② 新コンテンツプラットフォームへの対応



ハリウッド型ビジネスは、グローバルな配給・配信流通網を活用して、当社の指揮・統括の下、海外で企画製作した作品を、全世界へ一斉展開し、IP価値を一気に向上させ、関連ビジネス全体で収益獲得を目指すビジネスです。グローバルアニメ市場へ本格参入する上で不可欠なビジネスモデルであり、今後とも当社として中長期的視点でしっかりと取り組み、グローバルな地位を確立します。

地産地消型ビジネスは、現地有力パートナーと手を組み、展開地域の文化・慣習・規制にも対応した作品を展開し、ヒットを目指すものです。信頼感の高い現地のパートナーやクリエイターと手を組むことで、海外発アニメ作品ビジネスの成功を目指し、世界各地で布石を打っています。

● 新市場への展開

これまで当社は、情報通信テクノロジーの発展と軌を一に、スマートフォンのモバイルゲームやグローバル配信サービスなど、さまざまなプラットフォームを対象に当社IPを提供

し、ビジネスを拡大してきました。

例えばマルチプラットフォームとして人気を誇る「Fortnite」と「ドラゴンボール超」のコラボは、大変大きな反響が得られました。VR事業の「プリキュアバーチャルワールド」は、ミュージックステージやキャラクターショーをVR空間で楽しめるイベントに仕立て開催しました。

そのほかにも、VRやメタバースなどの興隆を見据え、数々の取り組みを行っています。今後も国内最多・世界有数のIPホルダーとして、情報テクノロジーの進化により新たに産まれるプラットフォーム上での成長機会を着実に取り込むべく、事業展開を図っていきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長

高 不 勝 裕

「鬼太郎」シリーズ全体の活性化へ！

映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」 ヒットの秘訣とは？



Q1

映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」の興行状況、
ここまでのヒットとなった要因を教えてください。

2月19日に興行収入が27億円を突破し、「ゲゲゲの鬼太郎」シリーズの映画の前作となる「劇場版 ゲゲゲの鬼太郎 日本爆裂!!」(2008年公開)の興行収入4.2億円を上回ることができました。

このような好業績となった背景の1つとして、内容を大人向けに振り切ったことが挙げられるのではないかと思います。本作の立ち上げ当初より、近年のアニメトレンドを踏まえて、大人も楽しめるハイクオリティの映画を作り上げることがチームのミッションでした。そのために、ストーリーはもちろん、キャラクターデザインや音楽においても、ホラー・ミステリーテイストに拘りました。結果、この方針が功を奏し、大人層、特に女性からの大きな反響を得ることができました。SNSなどでの発信力が強い層でもありますので、公開後に口コミで人気が拡大し、スクリーン数も公開当初の253館から段階的に増加し、最大340館まで拡大しました。

公開後の予想以上の反響によって、各種タイアップのお問い合わせやイベント・商品の展開など、現在も広がっています。本作のみならず、シリーズ全体の引き合いも増えており、本作から初めて「鬼太郎」に触れた方が、原作にも興味を持っていただくなど、IP全体の活性化という面で上手く回っていると感じています。

今後もファンの皆さまの熱を継続すべく、幅広く事業展開していきますので、ご期待いただけますと幸いです。

ストーリー

廃墟となっているかつての哭倉村に足を踏み入れた鬼太郎と目玉おやじ。目玉おやじは、70年前にこの村で起こった出来事を思い出していた。あの男と出会い、そして二人が立ち向かった運命について…

昭和31年—日本の政財界を裏で牛耳る龍賀一族によって支配されていた哭倉村。血液銀行に勤める水木は当主の時貞の死の弔いを建前に野心と密命を背負い、また鬼太郎の父は妻を探すために、それぞれ村へと足を踏み入れた。龍賀一族では、時貞の跡継ぎについて醜い争いが始まっていた。そんな中、村の神社にて一族の一人が殺される。それは恐ろしい怪奇の連鎖の始まりだった。鬼太郎の父たちの出会いと運命、圧倒的絶望の中で二人が見たものは一。

原作

水木しげる

スタッフ

- 監督：古賀 豪
- 脚本：吉野弘幸
- 音楽：川井憲次
- キャラクターデザイン：
谷田部透潮
- 美術監督：市岡菜衣
- 色彩設計：横山さよ子
- 撮影監督：石山智之
- 製作担当：澤守 洸、堀越圭文

Q2

製作の過程で苦労したポイントを教えてください。

ホラー要素の映像表現をどこまで追求するかという点で、非常に苦労しました。本作は、水木しげる先生の生誕100周年を記念して立ち上がった作品であり、時代に合わせて世相を取り入れつつも、根幹にある水木先生の作品世界を次の世代に繋いでいくということがプロジェクトの使命でした。その観点から、本作はメインターゲットを大人に設定したとはいえ、R指定※となつて子どもが観ることができなくなる状況は避ける必要がありました。

本作の目指すテイストとホラー要素の映像表現の追及のすり合わせが非常に難しく、何度も調整を重ね、最終的にPG12※という区分で公開することができました。公開後の反響は前述の通りですが、日本アカデミー賞 優秀アニメーション作品賞を受賞するなど、映像作品として業界でも高い評価をいただき、改めて作品に携わっていただいたスタッフ、キャストをはじめとしたすべての関係者の皆さまに感謝申し上げます。

※一般財団法人映画倫理機構が映画に設けている区分。PG12は「小学生には助言・指導が必要」、R15+は「15歳以上がご覧になれます」と設定されている。



キャスト

関 俊彦、木内秀信、種崎敦美、
小林由美子、古川登志夫、沢城みゆき、
庄司宇芽香、野沢雅子 ほか

公式サイト

<https://www.kitaro-tanjo.com/>

興行実績

国内興行収入27億円突破

作品実績

- 第47回 日本アカデミー賞 優秀アニメーション作品賞
- 第43回 藤本賞 新人賞

Q3

プロデューサーとして大切にされていることや、今後の目標を教えてください。

東映アニメーションの次世代の主力となるような作品を作りたいと考えています。創業から現在まで、数多くの偉大な作品が世に送り出され、多くの皆さまに楽しんでいただき、会社の成長を支えてきました。今後は、現在の主力作品のさらなる発展に加え、次の主力になるような作品が求められています。

そのような取り組みにおいて、一緒に同じ方向を向ける仲間を集めていきたいと考えています。ありきたりな表現かもしれませんが、いい作品を作り上げるには、スタッフやキャスト、営業といった作り手や売り手が、生き活きと作品に向き合うことが何より大切だと思っていますし、その価値観を共有できるチームづくりを常に意識しています。その上で、次なる主力作品を生み出していければと考えています。



内藤圭祐（ないとう けいすけ）

2007年に東映アニメーションに入社。「ワールドトリガー（1stシーズン）」のアシスタントプロデューサー、「魔法つかいプリキュア!」、「HUGっと!プリキュア」、「ドラゴンクエスト ダイの大冒険」などのプロデューサーを務める。本作、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」で第43回藤本賞 新人賞を受賞。

中外鉦業株式会社が運営する「Chugai Grace Café」とコラボカフェを開催し、限定メニューや限定グッズを展開しました。

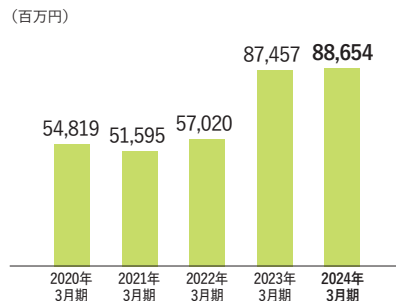


東映太秦映画村では、コラボイベント「ゲゲゲの妖怪村」を開催。緑日や作中で登場したシーンの再現展示、コラボフードの展開などが行われ、作品の世界観を体感できるイベントとなりました。

決算のご報告 2023年4月1日～2024年3月31日（第86期） ※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

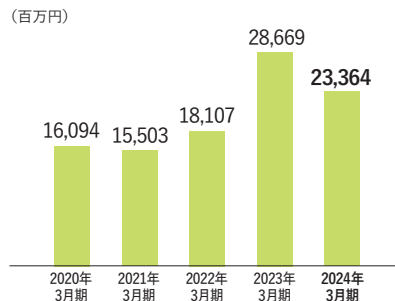
連結売上高

886 億 54 百万円 前年同期比 **1.4%** ↑



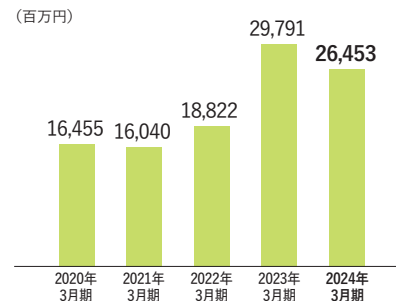
連結営業利益

233 億 64 百万円 前年同期比 **18.5%** ↓



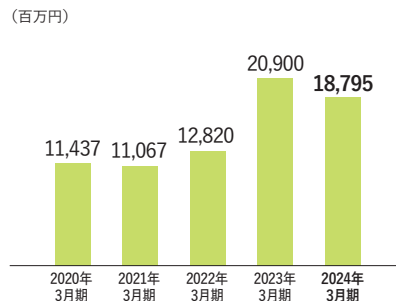
連結経常利益

264 億 53 百万円 前年同期比 **11.2%** ↓



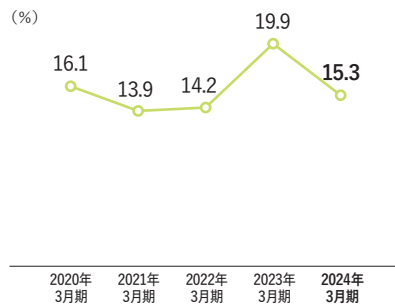
親会社株主に帰属する 連結当期純利益

187 億 95 百万円 前年同期比 **10.1%** ↓



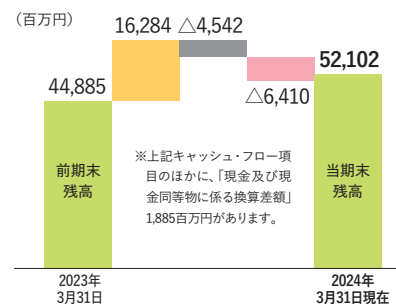
ROE（自己資本当期純利益率）

※ 自己資本当期純利益率 =
当期純利益 / 自己資本（期中平均）× 100



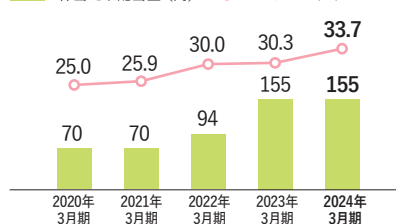
連結キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー



配当

■ 1株当たり配当金 (円) ○ 配当性向 (%)

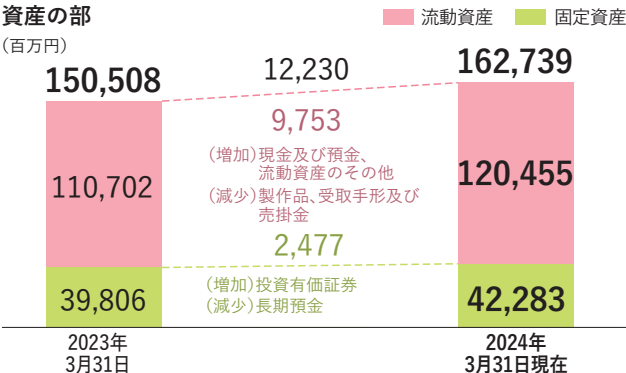


当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な政策の一つとして考えており、財務の健全性、成長が期待されるビジネス機会への投資、株主さまへの利益還元のバランスを取りながら安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としています。当期の年間配当金につきましては、1株当たり155円としました。

連結貸借対照表

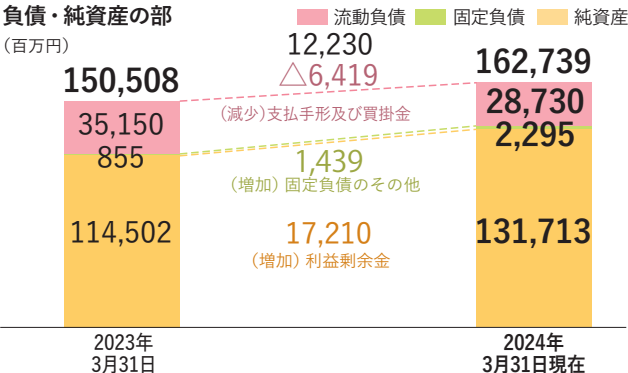
資産の部

(百万円)



負債・純資産の部

(百万円)



2024年3月期 概要

- ▶ 売上高は通期ベースで過去最高を更新、営業利益は過去2番目の水準を達成
- ▶ 2022年に公開した映画の大ヒットを契機に国内外で認知度が一段と向上した「ワンピース」や「スラムダンク」を中心に、商品販売事業や海外配信権販売が業績を牽引、円安進行も業績押上げに寄与
- ▶ 「聖闘士星矢 The Beginning」関連の費用増などを主因として、利益/利益率は低下

2025年3月期 見通し

- ▶ 2022年に公開した大型劇場作品の波及効果や劇場収入は前年度対比で減少を見込むも、全般として引き続き好調な事業環境を想定
- ▶ 2025年3月期業績は、複数新作の放映開始、主力作品群の周年イベント、人的資本投資など、将来の収益拡大に繋げる戦略投資に係る製作原価や宣伝費が増加することから、前年同期比では減収減益となる見込み
- ▶ TVアニメ作品では、「ワンピース」、「ドラゴンボールDAIMA」、「わんだふるぷりきゅあ!」、「魔法つかいプリキュア! 2 (仮)」、「おしりたんてい」、「逃走中 グレートミッション」、「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」、「ガールズバンドクライ」を放映予定
- ▶ 劇場アニメ作品は、「わんだふるぷりきゅあ! ざ・むービー!」(2024年9月13日公開予定)の製作・公開を予定

2025年3月期 連結業績予想

売上高	82,000 百万円
販管費	15,500 百万円
営業利益	20,000 百万円
経常利益	20,500 百万円
親会社株主に 帰属する当期純利益	15,000 百万円

事業セグメントの状況

映像製作・販売事業

アニメーションの企画・製作、
各種メディア展開

Lineup of the year

劇場アニメ

2023年
11月17日公開



映画
「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」

2024年
3月20日公開



「映画おしりたんてい
さらば愛しき相棒(おしり)よ」

テレビアニメ

2024年
2月～



「わんだふるぷりきゅあ!」

2024年
4月～



「ガールズバンドクライ」

コンテンツ

UHD、Blu-ray

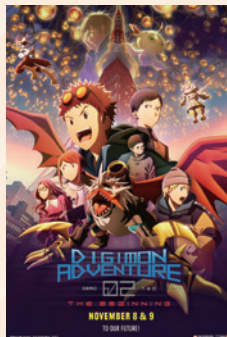
映画「THE FIRST SLAM DUNK」LIMITED EDITION
(初回生産限定)



海外映像

北米向けポスター

「デジモンアドベンチャー 02
THE BEGINNING」



その他



映像配信サイト
『Netflix』



映像配信サイト
『Amazon Prime Video』

売上高

348億28百万円

前年同期比

6.5%



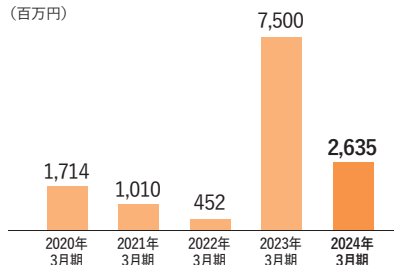
売上高構成比

39%

劇場アニメ部門

売上高 26億35百万円

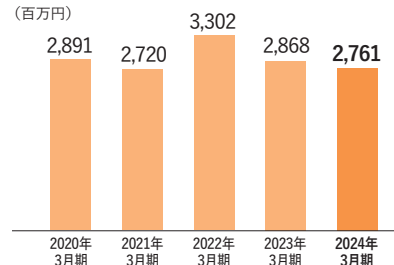
(百万円)



テレビアニメ部門

売上高 27億61百万円

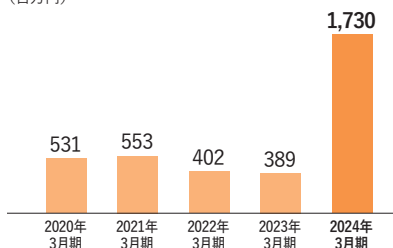
(百万円)



コンテンツ事業部門

売上高 17億30百万円

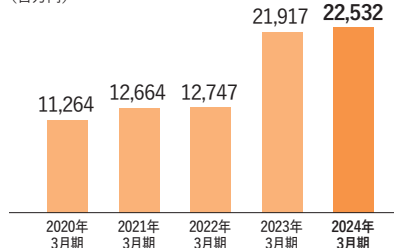
(百万円)



海外映像部門

売上高 225億32百万円

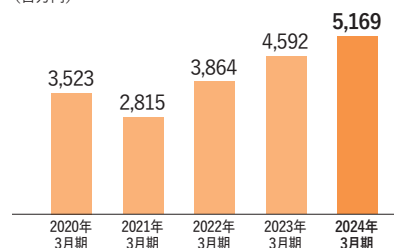
(百万円)



その他部門

売上高 51億69百万円

(百万円)



- ▶ **劇場アニメ部門**：「映画プリキュアオールスターズF」、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」が好調に推移しましたが、前年同期に公開した映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、「ONE PIECE FILM RED」、映画「THE FIRST SLAM DUNK」程には至らず、大幅な減収となりました。
- ▶ **テレビアニメ部門**：前年同期と比較して放映作品数が減少したことなどから、若干の減収となりました。
- ▶ **コンテンツ事業部門**：映画「THE FIRST SLAM DUNK」のブルーレイ・DVDが好調に推移し、大幅な増収となりました。
- ▶ **海外映像部門**：前年同期に好調に稼働した映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」の海外上映権販売の反動があったものの、「ワンピース」の海外配信権販売、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の海外上映権販売が好調に推移したことから、若干の増収となりました。
- ▶ **その他部門**：「金色のガッシュベル！！ 永遠の絆の仲間たち」などの自社企画アプリゲーム事業が好調に稼働したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

事業セグメントの状況

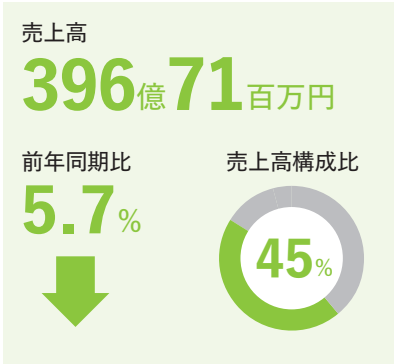
著作権事業

 作品に登場するキャラクターを使用した商品制作の許諾

Lineup of the year

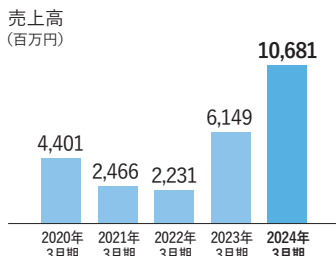
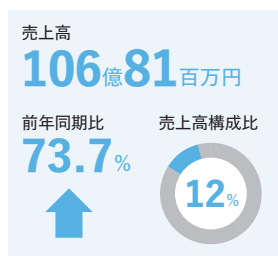
国内展開商品 TVアニメ「ONE PIECE」、「ドラゴンボール」シリーズ

海外展開商品 TVアニメ「ONE PIECE」、「デジモン」シリーズ、「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」、「ドラゴンボール」シリーズ



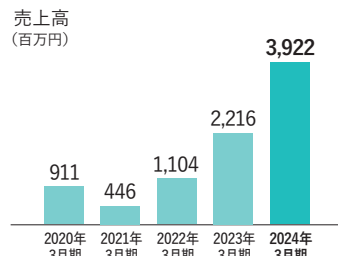
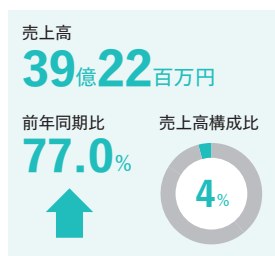
- 国内著作権部門**：「ワンピース」の商品化権販売が好調に稼働したものの、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかったことなどから、ほぼ横ばいとなりました。
- 海外著作権部門**：「ワンピース」の商品化権販売が好調に稼働したものの、「デジモン」シリーズ、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売が前年同期の勢いには至らなかったことなどから、減収となりました。

商品販売事業 ▷ 自社商品の開発・販売やショップ展開



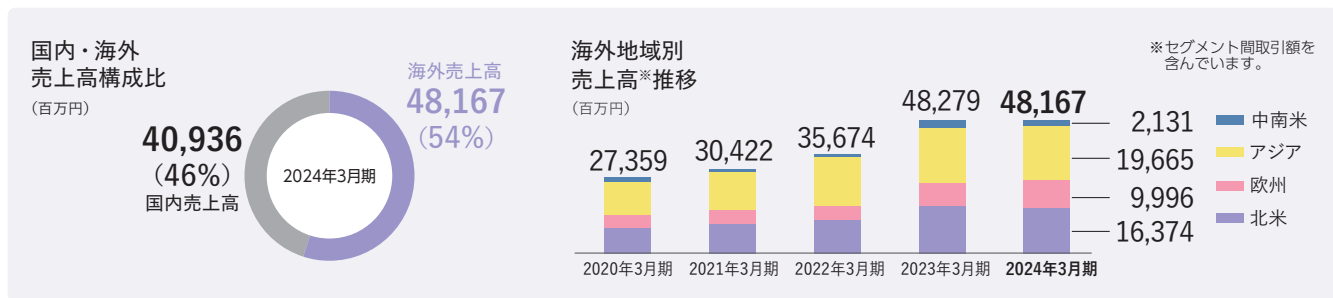
▶ 映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売や、「ワンピース」のショップ事業が好調に稼働したことなどから、大幅な増収となりました。

その他事業 ▷ キャラクターを使用したイベントの企画・運営



▶ 催事イベントやキャラクターショーなどを展開しました。「プリキュア」シリーズの催事が好調に稼働したことなどから、大幅な増収となりました。

海外での事業展開





2023年度中間実施

株主さまアンケート結果のご報告

2023年12月に実施しました株主さまアンケートに、数多くのご回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。ご返信をいただきました1,600名を超える株主さまの中から厳正なる抽選を行い、300名の皆さまに「ワンピース」2024年カレンダーを送付しました。今回はアンケート結果のご報告として、皆さまより頂戴したご意見の一部と担当者からのコメントを紹介します。

アンケート回収状況

回収率

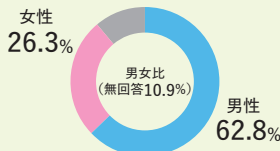
回答数 **1,631名**

株主数 **7,569名**※

※2023年9月末時点

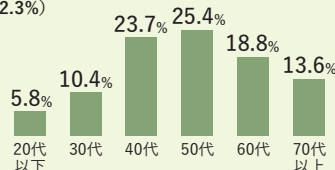
21.5%

ご回答者の属性



年代別

(無回答2.3%)



当社に投資された理由をお聞かせください

テーマで購入したら貴社の株もあったから。(40代女性)

クールジャパンの代表企業だから。(50代男性)

「スラムダンク」の映画を見て胸を打たれた。(30代女性)

IPビジネスに将来性を感じたから。(50代男性)

ずっと「プリキュア」を応援しています。(50代男性)

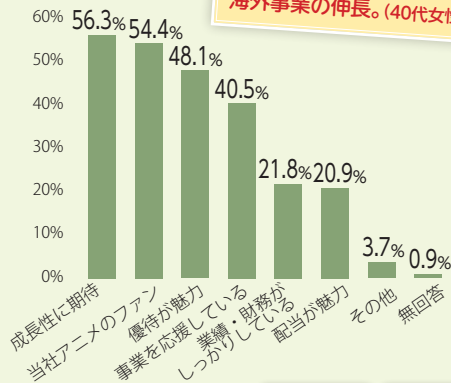
世界一の会社になれるから。(40代男性)

子どもが「プリキュア」、「ワンピース」が好きで、長期保有して貢献したいです。(40代男性)

子どもが好きだったアニメから私もファンになり、ずっと保有しています。(60代無回答)

地元企業なので応援したい。(50代女性)

海外事業の伸長。(40代女性)



担当者より アンケートご協力をお願い 締切日: 2024年7月19日(金)

株主の皆さまとより良い関係を築き上げていくために、本誌郵送時に同封のアンケートにご協力をお願いします。ご回答いただきました方の中から抽選で500名様に「わんだふるぷりきゅあ!」のリングノート、「ワンピース」のクリアファイルのセットを進呈します。当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。ご協力をどうぞよろしくお願いします。



皆さまからのご意見・ご質問

Q

過去の「プリキュア」の続編には一番驚いた。
他のシリーズも見てみたい。(70代以上女性)

世代をまたがって愛される強いIPを育ててください。自分
が楽しんだIPを子どもと楽しめる日を楽しみにしています。
(40代男性)

A

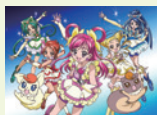
「キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～」をご覧いただき
ありがとうございます。2007年放映の「Yes！プリキュア5」
のメンバーが大人になった世界を描いた作品で、今までの「プリ
キュア」シリーズとは違った楽しみ方をしていただけたのではな
いかと思います。2024年度には、2016年に放映した「魔法つかい
プリキュア！」の続編も予定していますので、ぜひご期待ください。
また、アニメ放映開始から26年ぶりに大ヒットをした映画「THE
FIRST SLAM DUNK」や、今号で特集記事を掲載している映画「鬼
太郎誕生 ゲゲゲの謎」を筆頭に、さまざまな作品が、時代を超え
皆さまに届いているかと思っています。これからも二世帯、三世帯に
わたって愛される作品を製作していきますので、楽しみにお待ちく
ださい。



「キボウノチカラ
～オトナプリキュア'23～」



初代「ゲゲゲの鬼太郎」



「Yes！プリキュア5」



映画
「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」

Q

長期保有に向け、ぜひ今後も海外展開を強化してください。
引き続き応援しています。(40代男性)

A

応援ありがとうございます。当社では、グローバル市場を成
長戦略の一つとして位置づけ、さまざまな取り組みを実施し
ています。従来の日本で製作した作品の海外展開はもちろんのこ

と、海外で製作した作品展開なども積極的に行っています。中国
では、大手配信会社 Tencent Videoと手を組み、1979年に製作し
た「花の子ルンルン」のリメイク作品の製作、フランスでは、現地
のアニメーションスタジオと手を組み製作した「クレージュ・ノアル
（闇の学校）」という作品を展開中です。

これらの作品が、地域を超え世界中でヒットすることを目指し、
製作を続けていきますので、ぜひ期待してお待ちください。

Q

株式の流動性向上をお願いします。(50代男性)
株式分割を期待しています！(60代女性)

A

株式の流動性向上、株式分割による投資機会の拡大につい
て、たくさんのご意見をいただいています。この度、2024年4
月1日効力発生 of 株式分割を実施しました。これにより、より多くの
投資家の皆さまに当社株式を保有していただき、成長に寄り添って
いただければと思います。また、2024年2月には、当社株式の売出
しを実施し、流通株式比率の上昇がなされ、スタンダード市場の上
場維持基準への適合を果たしています。

上記の取組みにより、流動性が向上し、投資家の皆さまが投資し
やすい環境が構築されることを期待しています。

Q

「第86期 第2四半期のご報告」で、Amazon Prime Videoの
「東映アニメチャンネル」があることを知りました。さっそく
見てみようと思います。(50代女性)

A

「東映アニメチャンネル」
を知っていただき、大変
うれしく思います。こちらの



チャンネルでは、「デジモン」、「プリキュア」の全TVシリーズをは
じめとした200作品、8,500話以上の当社歴代作品を配信してい
ます。株主さま限定オンラインイベントで取り上げた「狼少年ケ
ン」や、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」で話題となった「ゲゲゲの
鬼太郎」の初代シリーズといった、昔懐かしの作品も配信中です。
他のプラットフォームで配信されていない作品もありますので、
ぜひ、チェックしてみてください！

※2024年4月時点の情報です。

株主優待のご案内

権利確定日：3月末日



「わんだふるぷりきゅあ！」
毎週日曜日 朝8:30～
ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中

2024年3月期
贈呈の
QUOカード



「ワンピース」
毎週日曜日 朝9:30～
フジテレビほかにて
放映中



「魔法のマコちゃん」
1970年11月2日～
1971年9月27日放映



「グレートマジンガー対
ゲッターロボG 空中大激突」
1975年7月26日公開作品

株主優待オリジナルの 「キャラクター QUOカード」を進呈

株主優待限定の描きおろしデザインを含む、人気の新作アニメ2枚、懐かしの名作アニメ2枚の計4枚が1セットです。

贈呈基準		
所有株式数	優待内容	
100株以上	1セット	(1,200円相当)
300株以上	2セット	(2,400円相当)
500株以上	3セット	(3,600円相当)
1,000株以上	5セット	(6,000円相当)
3,000株以上	8セット	(9,600円相当)
5,000株以上	10セット	(12,000円相当)
10,000株以上	12セット	(14,400円相当)

上記は2024年3月末時点の株主さまに対する進呈基準となります。株式分割後の進呈基準については、2024年1月29日に開示しました「株式の分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに株主優待制度の変更に係るお知らせ」をご参照ください。

トピックス

株主さま限定オンラインイベントを開催しました！

2024年3月15日に、4回目となる「株主さま限定オンラインイベント」を開催しました。
今後も皆さまに楽しんでいただけるような企画を検討していきます。
実施希望の企画がございましたら、アンケートの自由記述欄に記載いただけますと幸いです。



イベント配信内容

① 当社プロデューサーインタビュー

関 弘美(「デジモンアドベンチャー」シリーズ、「おジャ魔女どれみ」シリーズなどのプロデューサー)へのインタビュー

② イベント事業の紹介

「全ブリキュア展 ～20th Anniversary Memories～(横浜会場)」の紹介

③ 東映動画の歴史紹介

1960年代前半における、東映動画(東映アニメーションの旧称)の歴史紹介



会社情報 (2024年3月31日現在)	
商号	東映アニメーション株式会社
英文社名	TOEI ANIMATION CO., LTD.
本社	〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパーク イースト5階 TEL 03-5318-0678(代表)
従業員数	連結 :911名 単体 :641名
上場市場	東証スタンダード(コード:4816)
ホームページ	https://corp.toei-anim.co.jp

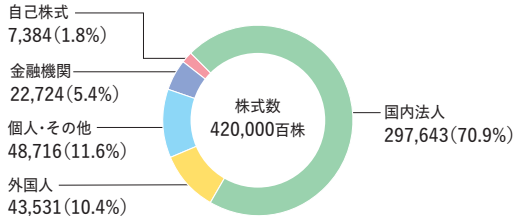
株主メモ	
決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催します。
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告します。
剰余金の配当	毎年3月31日現在の株主または登録株式質権者にお支払いします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL:0120-232-711(通話料無料) (受付時間:土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
公告方法	電子公告 https://corp.toei-anim.co.jp

株式の状況 (2024年3月31日現在)	
発行済み株式総数	42,000,000株
株主数	18,667名

大株主（上位10社およびその状況）

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
東映株式会社	141,000	33.6
株式会社テレビ朝日	82,509	19.6
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	34,300	8.2
JP MORGAN CHASE BANK 380815	20,200	4.8
東映ビデオ株式会社	13,647	3.2
株式会社バンダイナムコホールディングス	11,394	2.7
東映ラボ・テック株式会社	10,500	2.5
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 フジテレビジョン口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	8,000	1.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 ソニー株003口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	7,800	1.9
東映アニメーション株式会社	7,384	1.8

所有者別株式分布状況 (単位:百株)



お知らせ

■住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

■「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

※確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

第87期上期

注目の 7 作品



「わんだふるぷりきゅあ！」
毎週日曜日 朝8:30～
ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中



「逃走中 グレートミッション」
毎週日曜日 朝9:00～
フジテレビほかにて放映中



「ワンピース」
毎週日曜日 朝9:30～
フジテレビほかにて放映中



「おしりたんてい」
毎週土曜日 朝9:00～
NHK Eテレにて放映中



「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」
毎週金曜日 午後6:40～
NHK Eテレにて放映中



「ガールズバンドクライ」
毎週金曜日 深夜0:30～
TOKYO MXほかにて放映中



「わんだふるぷりきゅあ! ざ・むーびー!」
2024年9月13日公開予定

©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション，©ABC-A・東映アニメーション，©フジテレビ・東映アニメーション，©トロール・ポプラ社／おしりたんてい製作委員会，©廣嶋玲子・jyajya／偕成社／銭天堂製作委員会，©2024 わんだふるぷりきゅあ! ざ・むーびー! 製作委員会，©トロール・ポプラ社／2024「映画おしりたんてい」製作委員会，©I.T.PLANNING, INC. ©2022 THE FIRST SLAM DUNK Film Partners，©本郷あきよし・東映アニメーション・東映，©水木プロ・東映アニメーション，©尾田栄一郎／集英社 ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション，©ABC-A・東映アニメーション，©2023 キボウノチカラ オトナブリキユ製作委員会，©ダイナミック企画・東映アニメーション

免責事項

この報告書に記載しております当社および当社グループの計画や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、今後さまざまな要因の変化により異なる結果となることがあります。

本誌は、環境に配慮した森林認証紙および植物油インキを使用しています。

